

「道しるべ」を手にしてくれたみなさんへ

西東京市図書館では、「夏休みすいせん図書」「CATCH」を作り、中学生のみなさんにいろいろな本を紹介しています。みなさんもたくさんの本を読んでくれていることでしょう。

楽しい本、感動する本、知らなかったことを発見する本などを紹介した「道しるべ」で、あなたのまだ知らない、さまざまな本に出会ってください。そして、読んで感じて考えて、すてきな毎日を、これからの人生を歩んでいってほしいと思います。

.....

保護者の方へ

西東京市子ども読書活動推進計画の目的に、「子どもたちは読書活動を通じて、楽しく言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めます。また、多くの人の考えや生き方に触れることにより、自らの視野を広げ、ものごとを深く考えることができるようになる」といわれます。さらに、「必要な情報を選択して適切に活用する情報処理の能力も培われます。」とあります。

「道しるべ」は、西東京市図書館が21年間発行してきた「夏休みすいせん図書」をはじめとし、これまで発行した本のリストを基に、児童・YAサービス担当司書が選書し作成しました。このリストが、中学生の未来の道しるべとしてお役に立てていただけるよう願っています。

目次

絵本	3 - 5
読み物	6 - 25
戦争・平和の本	25 - 30
知識の本	30 - 36

かなでほんちゆうしんくら 仮名手本忠臣蔵 橋本治・岡田嘉夫の歌舞伎絵巻 1

竹田出雲 / 三好松洛 / 並木千柳 原作 橋本治 文 岡田嘉夫 絵
ポプラ社

御殿ごてんの中で刀を抜き、高師直こうのちろうなおを切りつけた塩谷判官えん やはん。その身は切腹せつぷくとなり、お屋敷やしきも明け渡しあけわしとなる。
浪人ろうにんとなった家来けらいたちは、殿さまとののうらみををはらすと、仇あだうちを決意けつぎする。そして、苦心くしんの末…。

江戸時代につくられた歌舞伎の演目で、日本における上演回数最高の記録をもつ。色あざやかな錦絵調の絵が目をひく、美しい絵本。



くじらの歌ごえ

ダイアン・シェルダン 作 ゲイリー・プライズ 絵 角野栄子 訳
BL出版

リリーは、おばあさんから「なにかおくりものをすると、くじらがおかえしをしてくれる」というのはしをききました。でも、おじさんのフェデリックは「くじらは人間の食料だ。ただそれだけだよ。」といいます。

つぎの朝リリーは、きれいな花をそっと海におとしました。すると、その夜ふしぎなことがおこります。



さよならエルマおばあさん

大塚敦子 写真・文
小学館

ある夏の終わり、85歳のエルマおばあさんはお医者さんから「病気でもう長くは生きられない」と言われた。この本は、おばあさんが亡くなるまで、猫のスターキティや家族と幸せいっぱいにごぞした最後の1年を写真で追っている。



しか きょうだい 鹿よおれの兄弟よ

神沢利子 作 G. D. バブリーシン 絵
福音館書店

「シベリアの森で うまれた おれは 猟師だ おれの きる ふくは 鹿皮 おれの はく くつも 鹿皮だ どちらも 鹿の足の腱を 糸にして めったものだ おれは 鹿の肉を くう それは おれの血 おれの肉となる だから おれは 鹿だ」鹿を兄弟と呼び、生きる猟師の姿を力強い文と絵で描き、シベリアの森へと引きこむ。



だくてん ぜつぼうの濁点

原田宗典 作 柚木沙弥郎 絵
教育画劇

昔、あるところにひらがなの「あ」から「ん」までの平和な言葉の世界があった。ところがあるひ、道ばたにどういうわけか「ゝ」濁点が置き去りにされていた。これは、ここ千年に一度もなかった事件だった。濁点に聞いてみると、山の向こうの深い森に住む「ぜつぼう」に長年仕えていたという。さて、濁点の運命は…。



100万回生きたねこ

佐野洋子 作・絵
講談社

100万回もしんだねこ、100万回も生きたねこ、そんなりっぱなとらねこがいました。ところが、泣くことは1回もありませんでした。そんなとらねこが、あるとき白いねこに恋をします。そして、この白いねこがしんだとき、はじめて泣いたのです。



みずうみにきえた村

ジェーン・ヨーレン 文 バーバラ・クーニー 絵 掛川恭子 訳
ほるぷ出版

6つころのわたしのいえのまわりは、自然がいっぱいでした。スウィフト川でマスをつったり、夜にはカエデの木の^きした^{した}でねむったりしました。

ところが、村の^{むら}ようすがかわってきました。わたしたちの住んでいるこの^{たにま}谷間には、水があります。その水と、お金や新しい家等のいいくらしと交換できるというのです。



雪の写真家ベントレー

ジャクリン・ブリッグズ・マーティン 作
メアリー・アゼリアン 絵 千葉茂樹 訳
BL出版

ウィリーは、^{けんびきよう}顕微鏡で見ると雪の美しさに魅せられ、みんなにも見てもらいたいと雪の観察と撮影に取り組んだ。彼をたたえ、故郷のアメリカの^{ごうせつちたい}豪雪地帯にある小さな農村のまんなかに建つ記念碑には、『“雪を愛したベントレー” ジェリコが生んだ世界的な雪の専門家』と^{まき}刻まれている。その一生を^{つづ}綴った伝記絵本。



ローザ

ニッキ・ジョヴァンニ 文 ブライアン・コリアー 絵 さくまゆみこ 訳
光村教育図書

ローザはバスにのってお金を入れ、それからいったんバスをおりて、またうしろのドアからのりました。当時、黒人はそうすることになっていたのです。

バスは前に白人、うしろに黒人、そして中間にある席にはどちらがすわってもいいはずでしたが、中間の席を白人にゆずらなかつたローザは^{たいほ}逮捕されます。それを知った黒人たちは、バスにのることをやめます。



足音がやってくる

マーガレット・マーヒー 作 青木由紀子 訳
岩波書店

バーニーは小さなころから、^{ゆうれい}幽霊にとりつかれることがあった。今回も、何の前ぶれもなく幽霊はとりつこうとしていた。「バーナビーが死んだ！ぼくはとってもさびしくなるよ」とその幽霊は言った。

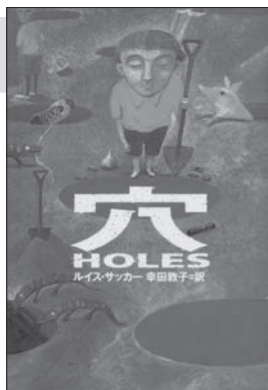
バーニーの大叔父、バーナビーが死んだという知らせがきたのは、そのすぐ後だった。死んだバーナビーには、不思議な力があったという。



穴

ルイス・サッカー 作 幸田敦子 訳
講談社

「まずい時にまずいところ」にいたために、代々、イエエルナツ家の人々は辛酸^{しんさん}をなめてきた。スタンリー（イエエルナツ四世）もまたしかり。無実の罪で、砂漠の真ん中の少年院にぶちこまれ、^{ざんこく}残酷な女所長の命令で、くる日もくる日も、不毛の地に<穴>を掘る。ある日、ついにスタンリーは決死の脱出を図る。どこかにあるかもしれない<約束の地>をめざして…。



アリスの見習い物語

カレン・クシュマン 著 柳井薫 訳 中村悦子 絵
あすなる書房

14世紀イギリスの小さな村で、ひとりの少女が温かい堆肥^{たいひ}の中で眠っていた。青白くやせこけた少女は家も母親も名前すら持っていなかったが、村の産婆ジェーンの見習いとなった。ジェーンは少女にきつくあたったが、少女はジェーンのやることを見て、読み書きも覚え、自分を「アリス」と名づけた。アリスは、産婆見習いとして認められていく。



アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス 著 小尾芙佐 訳
早川書房

ぼくはチャーリー、三十二歳。幼児の知能で止まっており、うまく文章がかけない。でも、キニアン先生は、ぼくのあたまをよくできるかもしれないという。それからは、検査ばかり。アルジャーノンというかしこいねずみと競争もしたし、アルジャーノンのやることを見物したり、動きの勉強もした。

そして、ぼくは動物実験ではずいぶん成功している手術にのぞむことになる。



一瞬の風になれ 1

佐藤多佳子 著
講談社

中学までやっていたサッカーに限界を感じた新二と、やる気のない天才スプリンター連。幼なじみの二人は、とくに強豪でもない春野台高校陸上部に入部した。高校ではいろいろな先輩がいて、顧問の先生も個性的。いつも連の背中を見て走っていた新二は「速くなる」ただそれだけを目指して走る。シリーズは全3巻あります。



インディゴの星

ヒラリー・マッカイ 作 富永星 訳
小峰書店

インディゴはカッソン家の長男。病気で一学期を欠席したが、学校へ行く日がやってきたので、妹のローズは、いろいろ兄のために気をつかった。インディゴが学校のワルガキ連中にいじめられていることを知っていたからだ。ローズは、ロンドンのスタジオにいる父さんが家に帰ってこないことも気にして、ある作戦を考える。「サフィーの天使」に続く、カッソン一家の物語。



エーメールと探偵たち

エーリヒ・ケストナー 作 高橋健二 訳
岩波書店

エーメールはベルリンのおばあさんの家に行く途中、汽車の中でねむっている間に、大切なお金を盗まれてしまいました。エーメールは、車室の中にいたあやしい山高帽の紳士を追いかけます。その後、ベルリンでグスタフという少年たちに会い、みんなで探偵会議をひらき、この犯人をつかまえようとします。



園芸少年

魚住直子 著
講談社

始まりは高校入学直前の春休み。おれ篠崎は、自転車に乗っていて、線路沿いにこめてあった自転車を倒してしまいました。気がつくと、眉のほとんどない不良がだまって自転車を起こしてくれていた。その後入学した高校で、再会したおれと眉なしのあいつ大和田は、なりゆき上から、園芸部に入部することになった。園芸初心者、高1男子の物語。



オオカミは歌う

メルヴィン・バージェス 作 神鳥統夫 訳
偕成社

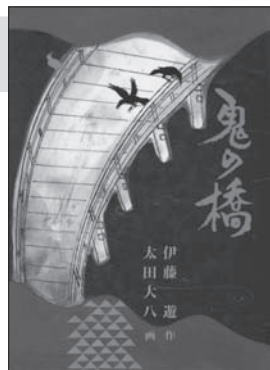
ベンはモール河の堤でハンターである男に出会う。その時に、オオカミがここにいることを話してしまった。ハンターは今まで希少動物を殺してきた。そして、最後にのこった一匹を殺すという名誉をかけ、イングランドオオカミを探し続ける。オオカミは災難からまぬがれるようあらゆる手段をつかってにげる。ハンターとオオカミの死闘の物語。



鬼の橋

伊藤遊 作 太田大八 画
福音館書店

平安時代、小野篁は、異母妹を自分の過失で死なせてしまったと思いこみ、落ちた井戸からあの世に落ちてしまう。そこで、鬼に食べられそうになるが、橋を守る坂上田村麻呂に助けられ、地上に追い返される。地上では、孤児の阿子那、地獄からにげてきた鬼の非天丸に会い、自分とは違う世界の人が一生懸命生きる姿を見て、新しい自分の運命にたちむかっていく。



影との戦い ゲド戦記 1

アーシュラ・K・ル＝グウィン 作 清水真砂子 訳
岩波書店

不思議な力を持つ少年ゲド（ハイタカ）は、ロークの学院に入り、真の魔法を学ぶ。傲慢で気短なゲドは、修業中に、あやまって禁じられた呪文を唱えてしまい、死の影を呼びだしてしまう。これから、影との戦いがはじまろうとしている。

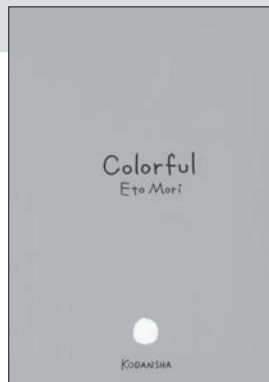
魔法使いゲドの生涯とアースシー世界の光と闇を描く壮大な物語の第1巻。シリーズは全6巻あります。



カラフル

森絵都 著
講談社

あやまちを犯し、輪廻のサイクルからはずされたぼくの魂。下界にもどれるという抽選に当たり、先日自殺した中学三年生の小林真の体にホームステイすることになった。しかし、この与えられた命がどんな人物なのか、名前、年齢、家族構成や友だちもわからないところからスタートしていった。



ガールズ・ブルー

あさのあつこ 著
ポプラ社

17歳の誕生日に拓郎^{たくろう}と別れた理穂^{りほ}、10歳まで生きられるかどうか分からないと医者から言われていた美咲^{みさき}、野球選手の兄を持つ如月^{きさらぎ}は稲野原高校に通う同級生。

それぞれ3人の夏はとても輝いていた。そして、さまざまな思いを抱えながら、元気に過ごしていく様子を描いている。



きいちゃん

山元加津子 著 多田順 絵
アリス館

きいちゃんは、小さいときに高熱が出て、それがもとで手足が思うように動かなくなりました。おねえさんが結婚するのでお式を楽しみにしていましたが、結婚式に出席できなくなりました。とても悲しく寂^{さび}しかったきいちゃん。夕日色に染めた布に、不自由な手を一生懸命使^{いっしょうけんめい}って針を進め、ゆかたをプレゼントすることにしたのです。



きとうし むすめ 祈祷師の娘

中脇初枝 作 卯月みゆき 画
福音館書店

はるは、血のつながりのない父と、父の妹とその娘和花^{わか}ちゃんの4人で暮らしている。はるも叔母さんと同じ祈祷師^{きとうし}になりたいと思っているが、素質はないようだ。和花ちゃんが、おしらし様のお告げを聞いてから苦しむ姿を見て、今まで迷っていた気持ちをふっさるように、はるは本当のお母さんに会いに行く。自分の存在を確かめるように。

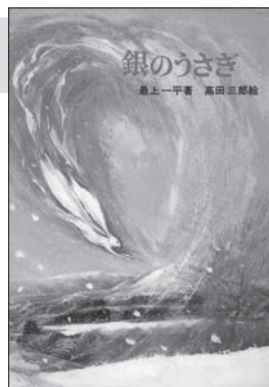


銀のうさぎ

最上一平 著 高田三郎 絵
新日本出版社

ちくさの家ではうさぎを飼っていて、世話をしているのは千草だった。千草は、うさぎがだまって雪の中でいつまでもがんばっているのを見てると、なんだかほっとするのだった。

ところが、ある日じいちゃんが、毛皮を買いにきたなんでも屋にうさぎを売ってしまった。千草は、ひきさかれるうさぎを見ているしかなかった。短編が全部で6話あります。



クラバート

オトフリート=プロイスラー 作 中村浩三 訳
ヘルベルト=ホルツィング 絵
偕成社

14歳のクラバートは少年二人と浮浪生活を送っていた。ある日、クラバートは不思議な夢を見た。夢の中で「シュヴァルトツコルムの水車場に来い。」という声が聞こえた。そして、クラバートはその水車場を探し当てた。その日から、表向きは粉ひき職人の見習いとして親方から魔法をならうことになる。



月神の統べる森で

たつみや章 作 東逸子 絵
講談社

人が、自然界のすべてをうやまい、恵みを受け、共存して暮らしていた縄文時代。海から来たヒメカの民がムラを襲う。ムラの長アテルイと月の神の地上の息子といわれるシクイルケは、逃げる途中、翡翠色の目を持つ少年ポイシュマと運命的な出会いをする。この物語によって、縄文から弥生へと続く壮大な時代ファンタジーが始まる。

シリーズは全5巻あります。



げんべい 源平の風

しらこまき 白狐魔記

斉藤洋 作 高畠純 画
偕成社

しらこまさん せんにな でし しゅぎょう
白駒山の仙人の弟子になり、修行ののち、人間に化けることができるようになったきつね、白狐魔丸の人間探求の物語。この巻では「源平の戦い」に巻き込まれた白狐魔丸が、兄頼朝に追われ落ち行く源義経一行に同行、武士の無情を目のあたりにする。

シリーズは全5巻あります。



佐藤さん

片川優子 作 長野ともこ 絵
講談社

さえきとちき 佐伯智樹は、同級生の佐藤さんが怖い。なぜなら彼女の後ろにはいつも幽霊が憑いていて、智樹にはそれが見えてしまうからだ。そのことを佐藤さんに知られてしまった智樹は、彼女の除霊を引き受けるが、成仏したはずの幽霊・安土さんが今度は守護霊として現れる。

その日から三人のふしぎな関係がはじまった。



少年H 上・下

妹尾河童 著
講談社

母親がセーターに名前を編みこんでくれたので、少年は町の見知らぬ人にも名前を呼ばれたりする。そこで、頭文字の「H」だけにしてもらったところ、友達から「エッチ」という仇名で呼ばれるようになってしまった。少年時代のなつかしい思い出の話。



スウィート・メモリーズ

ナタリー・キンシー＝ワーノック 作 金原瑞人 訳
ささめやゆき 画
金の星社

シェルビーはひっこみじあんな女の子。絵が上手なのだが「かいて」とたのまれると、ぎゅっとくちびるをむすんで首を横にふることにしていた。

ところがある日、おばあちゃんと古いアルバムを見ていたら、おばあちゃんも昔はおくびようだったと話してくれた。



精霊の守り人

上橋菜穂子 作 二木真希子 絵
偕成社

「短槍使いのバルサ」と呼ばれる女用心棒、バルサ。彼女がたまたま助けた少年は、<新ヨゴ帝国>の第二皇子のチャグムだった。チャグムは100年に一度生まれる精霊をやどしているために、あらゆる者から命をねらわれていた。チャグムの用心棒を頼まれたバルサは、チャグムをつれて逃亡の旅に出る。シリーズは全10巻あります。



世界がぼくを笑っても

笹生陽子 著
講談社

「われらが浦沢中学にすごい先生がやってくるってさー。」そんなHPのカキコミを発見した中学2年の北村ハルト。

始業式の日、ハルトの前に軟弱そうでやぼったい先生が現れた。そう、彼こそがハルトのクラスの新担任一小津ケイイチロウ先生、だった！彼は始業式のあいさつ直後に気絶したりする、とんでもないダメ教師で…。



そらいろまがたま
空色勾玉

荻原規子 作
徳間書店

村娘^{さや}狭也の幸せな日々^にに影をおとすのは、昔の記憶^{おに}—「鬼」に追われた六歳の自分。十五になった祭の晩に、<おまえは「闇」の氏族巫女^{くら}姫だ。>と告げられて、憧れの「輝」の宮に救いをもとめる狭也。だが、宮の神殿^みで縛められていた「輝」の末子^{すえご}、稚羽^{ちはや}矢との出会いが、狭也の運命を大きくかえていく。シリーズは全3巻あります。



大草原の小さな家 インガルス一家の物語 2

ローラ・インガルス・ワイルダー 作 恩地三保子 訳 ガース・ウィリアムズ 画
福音館書店

「大きな森」にあった小さな家をあとにして、広々とした大草原を求め、インガルス一家はインディアンの住む土地^{ほろほしや}へ幌馬車で旅立ちます。いくつもの川を渡り、いくつもの州を通りぬけ、ようやくたどりついた大草原。何ひとつないこの場所に、とうさんとかあさんは、力を合わせて家をつくります。シリーズは全5巻あります。



ダイブ !! —前宙返り3回半抱え型—

森絵都 文
講談社

高さ10メートルからの^{ひしやう}飛翔。時速60キロの急降下。わずか1.4秒の空中演技。こんな高さと速度に耐え、瞬時宙返りや体をひねったりする競技。それがダイブ。新コーチに突然「二重関節、生まれ持った体質よ。そして何より…」と意味ありげに言われた^{ともき}智季。ダイブのサラブレットの^{よういち}要一。“その瞬間”をめぐる物語。シリーズは全4巻あります。



種をまく人

ポール・フライシュマン 著 片岡しのぶ 訳
あすなる書房

さまざまな人種がうすまく貧民街の一角、だれも気にとめなかったゴミ溜めに、ひとりの女の子がマメの種をまきます。そのあと、ひとり、またひとりと、いろいろな人がそこに畑をつくるようになり…。

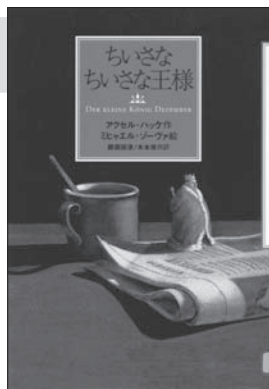


ちいさなちいさな王様

アクセル・ハッケ 作 那須田淳 / 木本栄 共訳 ミヒヤエル・ソーヴァ 絵
講談社

ある日とつぜん、ほんの気まぐれに、僕の家に来てくようになった、僕の人差し指くらいの大さしかない王様。僕たちとはちがい、成長するにしたがって小さくなり、小さけりゃ小さいほど偉いという。

そして王様の部屋には、夢がひとつずつはいった箱がたくさんおいてある。夜寝るときに、その中からとりだして夢をみるらしい。



ツバメ号とアマゾン号 アーサー・ランサム全集 1

アーサー・ランサム 作 岩田欣三 / 神宮輝夫 訳
岩波書店

ウォーカー家の4人きょうだいは、夏休みに帆船ツバメ号に乗り、湖に浮かぶ無人島の探検に出かけた。ジョンが船長、スーザンが航海士、ティティがAB船員、ロジャがボーイ。船にはテントや食糧などを運びこみ、旗まで作った。火を起こして食事を作り、昼間は泳ぎながら、無人島を探検して楽しく過ごしていたが、ある日海賊があらわれ戦うことになる。

シリーズは全12巻あります。



時をさまようタック

ナタリー・バビット 作 小野和子 訳
評論社

口うるさい家族に反抗して家を抜け出した 10 歳の少女ウィニーは、森の中で美しい少年に出会いました。少年はジェシイ・タックと名のり、年齢は 104 歳だといいます。ウィニーは、死ぬことがなく永久に生き続けなければならないタック家の人々と知り合いになります。



時の旅人

アリソン・アトリー 作 松野正子 訳
岩波書店

ペネロピーは身体が弱かったので、母のおばさんの農場にあずけられていました。ある日、古い屋敷の廊下のつきあたりにあるドアを開けたペネロピーは、昔の服を着た人たちを見かけます。それ以後ペネロピーは同じ場所で、16 世紀と現在を往復することになり、つらい歴史の真実を自分の目で確かめることになります。



トムは真夜中の庭で

フィリパ・ピアス 作 高杉一郎 訳
岩波書店

夏休み、トムが預けられたのは友だちもいない、退屈な家。だけど、真夜中に家の大時計が 13 時を打つのを聞いたトムが目にしたのは、昼間はなかったはずの広い庭園だった。そこでトムは、ヴィクトリア朝時代の不思議な少女ハティと友だちになる。



夏の庭

湯本香樹実 作
徳間書店

山下・^{かわべ}河辺・木山は、小学校6年生のなかよし3人組。ある日、おばあさんが死んで、お葬式そうじきに行った山下から話を聞いた3人は、「死」について興味をもつようになる。

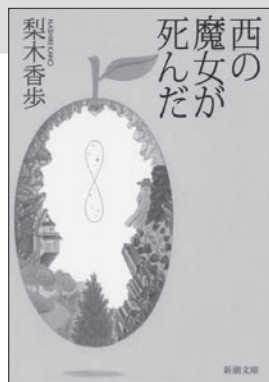
そこで、「もうじき死ぬんじゃないか」と近所でうわさされているひとり暮らしのおじいさんをみはることにした。おじいさんが死ぬところを見るために。



西の魔女が死んだ

梨木香歩 著
新潮社

中学校に入ってまもなく、まいは学校へ行けなくなった。おばあちゃんのところに行くことになったまいは、おばあちゃんと一緒にサラダを作ったり、ジャムを作ったりしながら、“魔女修行”をすることになる。それは精神修行で、規則正しい生活をしながら、自分を見つめることだった。



ニメートル

横山佳 作 高島那生 絵
BL出版

高校に入学したハルの通学路。今日も背後から、クラスメートのアイツ、^{よどがわしん}淀川清の説教が始まる。同じ中学だったが話した記憶もないアイツは、毎日ニメートル後ろからハルに話しかけてくる。すげなくしてもこりないアイツの話に耳を傾けてしまうと…。



とんがってるハルときまじめなアイツ。離れたり近づいたり、変化していく二人の距離きよりのは…。

のっぽのサラ

パトリシア・マクラ克蘭 作 金原瑞人 訳 中村悦子 絵
徳間書店

ママが死んでしまってから、何年かたちました。大草原にすむパパとわたしと弟のケレイブのところには、はるか遠い海辺の町からのっぽのサラがやってきました。パパの新しいおくさんに、それから、わたしたちのママになってくれるかもしれない人です。でもサラは、故郷の海が恋しくてたまらないのです。サラは、ずっとうちに来てくれるのでしょうか。



バッテリー

あさのあつこ 作 佐藤真紀子 絵
教育画劇

春から中学生になる巧は、家族みんなで、祖父がいる母の田舎の家に引っ越してきた。野球少年でピッチャーの巧は、才能もあるが我も強い。地元の少年野球選手で、体が大きくがっちりしているが、年下にも慕われるキャッチャーの豪と出会う。二人は、バッテリーを組むことになる。シリーズは全6巻あります。



花豆の煮えるまで - 小夜の物語 -

安房直子 作 味戸ケイコ 絵
偕成社

小夜のお母さんは、山んばの娘。小夜が小さい時のある夕暮れに、つり橋で両手を広げて「わたしゃ、山の風になる」と言って渡って行ったそうです。小夜は、おばあさんの煮きたての花豆を食べながら、山のおむこの山んばの里やお母さんのことを思うのでした。

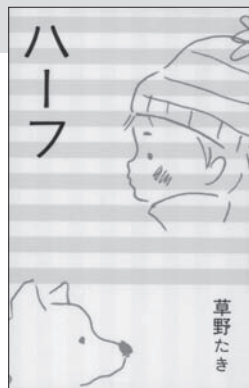


ハーフ

草野たき 著
ポプラ社

ぼくの母親の名前は、ヨウコ。茶色い毛並みのきれいな犬だった。ぼくは小さいときから、ヨウコが母親だと教えられてきた。ふつうの人間である父さんも、ヨウコを奥さんとして、「夫婦の会話」をしている。ところがある日、ヨウコがいなくなった。父さんは会社を休んでさすが、見つからない。

父1人、子1人、母1匹。おかしな家族の物語。



ハリーとしわくちゃ団

アラン・テンパリー 作 日当陽子 訳
評論社

両親を事故で突然なくしたハリーは、大おばさんたちと田舎の町に住むことになりました。屋敷には風変わりなふたりのおばあさんと、その仲間たちがいます。みんな年寄りで、変わった特技をもっています。彼らには、ハリーに言えない大きな秘密がありました。



ピアニッシモ

梨屋アリエ 著
講談社

「家のなかに、一日のうちのたった三分でもいいから、ちゃんと私の話を聞いて、受け流さずに受け止めてくれる人がいてほしい」…松葉。「独り暮らしができるようになったらさっさと家を出て、すごい恋愛をして、好きな人と幸せに平凡に暮らしたい」…紗英。

そんな二人は中学3年生。ピアノをきっかけに接近するのだが…。



ビターチョコレート

ミリアム・プレスラー 作 中野京子 訳
さ・え・ら書房

十五歳のエーファは太った自分を醜いと感じ、太っているせいで自分は学校でも家でも誰にも好かれず、孤独だと思っている。その苦しみを忘れるために、彼女はひたすら食べ続け、そして吐く。エーファは過食症なのだ。ほんとうの愛されるべき自分は、脂肪の中に閉じ込められていると思っているエーファだったが…。



ひねり屋

ジェリー・スピネッリ 作 千葉茂樹 訳
理論社

パーマーは九歳の男の子。彼の住む街で、毎年行われるファミリー・フェスティバルでは鳩撃ち大会があった。そこで、撃ち落とされても生きている鳩の首をひねりとどめをさす「ひねり屋」は、十歳の男の子の名誉ある役割だった。だが、パーマーは、ひねり屋にはなりたくなかった。彼は鳩が好きだった。



ふしぎの国のアリス

ルイス・キャロル 作 生野幸吉 訳 ジョン・テニエル 画
福音館書店

「ああたいへんだ、たいへんだ、おくれてしまうぞ！」とひとりごとを言いながらピンクの目をした白いウサギがアリスのすぐそばを走っていった。川の堤の上でお姉さんのそばに坐ったまま退屈していたアリスは、ウサギを追って野原をよこぎり、ウサギがウサギ穴にとびこむのを見ると自分もつづいてとびこんだ。それは、ふしぎの国への入口だった。



魔女の血をひく娘

セリア・リーズ 作 亀井よし子 訳
理論社

アメリカで発見された古びたキルトに、一枚一枚ぬいて
まれた謎の日記。そこには、十七世紀イギリスの魔女狩り
を逃れ、新大陸に渡った娘の驚くべき軌跡きせきがかかっていた。

日記には、苦難の船旅から、入植地での苦労、アメリカ
原生林での先住民少年との交流など、過去を隠して必死に
生きる姿がづらられていて、当時の生活が伝わってくる。続編があります。



みちるのハイスクール日記

ショート・みちる 文と絵
小峰書店

「アメリカの中学校へ行こう」とたったひとりで渡
米したみちるも、もう高校生。高校でのできごとや、
友達の話、先生の話、授業の様子など、みちるお得意
のイラストつきで、紹介している。中学生活をつづつ
た姉妹編『みちるのアメリカ留学記』もあるので、ぜ
ひ読んでみて！



みどりのゆび

モーリス・ドリュオン 作 安東次男 訳
岩波書店

チトは、さわるとたちまち花をさかせることができる「み
どりのゆび」を持つ男の子。チトは、刑務所けいむしょの囚人たちが不
幸に見えたので、夜こっそり刑務所けいむしょに行き、できるだけたく
さんのところに親指を押しつけてきた。翌朝、花がたくさん
咲き、囚人達は明るくなった。

チトは、花を咲かせることで、悲しみの中にいる人々を幸せにし、戦争をも食い止める。



すいせい
ムーミン谷の彗星 ムーミン童話全集 1

トーベ・ヤンソン 作・絵 下村隆一 訳
講談社

ムーミン谷に気味の悪い風が吹き、大きなどす黒い雲が空を走るようになりました。地球がほろびると聞いたムーミンとスニフは天文台に向かいます。そこで赤く長い尾を光らせた彗星が地球に向かってくるといわれ、ムーミン谷は大さわぎ。

シリーズは全9巻あります。



ムーンレディの記憶

E. L. カニグズバーグ 作 金原瑞人 訳
岩波書店

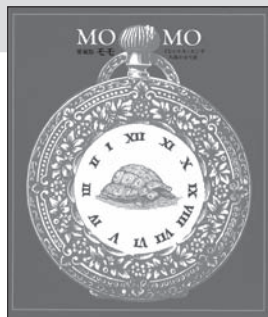
転校生のアメディオは同級生のウィリアムといっしょに、隣に住むゼンダーさんの家財処分の手伝いをする事になった。ゼンダーさんは、高齢者施設に引っ越すことになり、持って行く荷物にも限りがあるためウィリアムのお母さんに家財処分を頼んだのだ。その際に、ゼンダーさんの家の図書室の本棚の一番上で『ムーンレディ』という一枚の絵を発見する。



モモ

ミヒャエル・エンデ 作 大島かおり 訳
岩波書店

大きな都会のはずれに、人々からわすれさらられていた小さな円形劇場がありました。そこに、きみょうな女の子が住みついたといううわさがひろまり、近所の人たちが見にきました。モモという名の、その女の子を近所の人たちみんなで世話をすることになりました。



野心あらためず —日高見国伝—

後藤竜二 作 田中禎子 絵
講談社

アビは十四、五歳の長身の少年だった。白髪の老人オンガと二人で鮫狩りをして暮らしていた。オンガはアビに遠い北の国、陸奥とよばれている日高見国の神の物語を子守り歌のようにきかせていた。そこは、かつてアビー族が住んでいた土地だった。



ゆびぬき小路の秘密

小風さち 作 小野かおる 画
福音館書店

十一歳のバートラムは、新しく引っ越した町で、「ゆびぬき小路」と書かれた古い通りを見つけた。そこにある古着屋で制服とコートを買った時、母さんと店の女主人が「ゆびぬき小路」にある仕立て屋の話をしていて、学校でもその仕立て屋の妙なうわさを聞いたバートラムは…。



指輪物語 1 旅の仲間 上

J. R. R. トールキン 著 瀬田貞二 訳 田中明子 訳
評論社

大金持ちで変人のビルボ・バギンズ氏の百十一歳の誕生日の祝宴を催すという噂で、ホビット村だけでなく、ホビット庄全体が大騒ぎでした。バギンズ氏の養子のフロドは、敵から守ってくれる指輪の話を聞き、旅に出ることになります。

シリーズは全7巻あります。



夜中に犬に起こった奇妙な事件

マーク・ハットン 著 小尾芙佐 訳
早川書房

クリストファーは、十五才。数学や物理のよくできる、お父さんとふたり暮しの自閉症^{じへいしょう}の少年だ。ある夜、近所の犬が殺されているのを見つけるが、かけつけた警官^{けいがん}の質問に、うまく答えられずトラブルを起こしてしまう。そこで、真犯人^{まが}を捜すため、彼は、記録をつけはじめる。さまざまな経験を通して成長していく少年の姿を描く。



ライオンとであった少女

バーリー・ドハーティ 著 斎藤倫子 訳
主婦の友社

母を病気でなくし、最後のことばの「強くなりなさい」だけを頼りにひとりぼっちで生きているアフリカの少女アベラ。

イギリスで母と二人で暮らしているが、母が養子を迎えようとしていることを知り、母の愛情を信じられなくなっているローザ。まったくちがう二人の生活が並行して描かれ、最後は一本の線につながっていく。



りかさん

梨木香歩 作
偕成社

おばあちゃんから「ひなまつりに欲しい物はあるかい？」と聞かれ、「“リカちゃん”が欲しい」と答えたようこに送られてきたのは、真っ黒い髪^{いちまつにんぎょう}の市松人形だった。ようこが欲しかったのは、今も流行の“リカちゃん”人形だったが…。がっかりしたようこだが、説明書にあるように世話をしていると心が通じあい、りかさんのつらい運命との出会いをすることになる。



リー・ボッツの日記 ー走れ、ストライダーー

B. クリアリー 作 谷口由美子 訳 むかいながまさ 画
あかね書房

リー・ボッツは十四歳の男子。浜辺で砂の上ですわっている犬を見つけた。どうやらその犬は飼い主にそこにいると命令されたまま、置き去りにされたらしい。ストライダーと名前をつけ、親友のバリーと共同でその犬を飼うことにしたのだが…。



あなたがもし奴隷だったら…

ジュリアス・レスター 文 ロッド・ブラウン 絵 片岡しのぶ 訳
あすなる書房

昔、新世界とよばれたアメリカに多くのアフリカ人が船で運ばれてきた。それは奴隷としてただで働く労働者として、無理やり連れてこられたのだ。そうした奴隷制度に反対して、多くの人々が戦い 400 年にわたる奴隷制度は廃止された。

彼らが勝ち取った自由とはどんなものだったのだろう。



生きのびるために

デボラ・エリス 作 もりうちすみこ 訳
さ・え・ら書房

アフガニスタンに住む女性は、タリバンにより、男性といっしょでなければ、外へでることをゆるされなかった。父をタリバン兵に連れ去られ、食料もなくなったパヴァーナの家族は、十一歳の少女パヴァーナが少年として働くようになる。

タリバンに支配されたカブールのようすと人びとの暮らしを描く。



馬を洗って…

加藤多一文 池田良二 版画
童心社

さんぽんじろ
三本白（足首が3本白い）の馬は主人を殺すとか、
か
飼った家が火事になるとかいわれていた。ふぶきの夜
にわたしの家で生まれたソッキは三本白のため、父に
ころ
殺されそうになったが、兄がかばって助けた馬だ。わ
たしの思い出の中の兄は、いつも川で馬を洗っていた。ところが、戦争になって
兄は出征することになる。



弟の戦争

ロバート・ウェストール 作 原田勝 訳
徳間書店

ぼくの弟アンディは不思議な子どもだった。突然な
かに引きつけられて、なにも考えられなくなってしま
う。

1990年8月2日、湾岸戦争が始まった。そのころ
から、弟が奇妙な行動や言葉を話すようになった。弟の身
体の中にはイラク少年兵ラティーフがとりついているら
しい。アンディの中の戦争もこのことから始まった。



木を植えた男

ジャン・ジオノ 原作 フレデリック・バック 絵 寺岡襄 訳
あすなる書房

1913年、フランスのプロヴァンス地方の山脈の道
を若者が歩いていたら、羊飼いの男とであつた。若者
は水と食べ物もらい、家にも泊めてもらった。羊飼いは羊の世話をしながら、
どんぐりを地面に埋めていた。それは何年ものちに人々を魅了する、みごとな森
に成長するのである。



きれいな絵なんかなかった -こどもの日々、戦争の日々-

アニタ・ローベル 作 小島希里 訳
ポプラ社

<ABCのおかいもの><やわらむすめ><わたしの庭のバラの花>の絵本でおなじみのアニタ・ローベルの自伝的戦争体験記録。

1939年第二次世界大戦最中、ナチス占領下のポーランドで5歳になるアニタは、逃亡生活を続け、強制収容所に入れられた。きれいな絵など思い出すことのできなかつたあの時代を、鮮やかによみがえらせて淡々とつづる。



国境を越えて -戦禍を生きのびたユダヤ人家族の物語-

ウィリアム・カプラン / シェリー・タナカ 文
シュテファン・テイラー 絵 千葉茂樹 訳
BL出版

第二次世界大戦では、多くのユダヤ人が迫害された。主人公イーグル一家も生きのびるためにリトアニアからシベリアを経て、神戸からカナダまで、地球の四分の三にも及ぶ距離を旅した。杉原千畝領事の発行したビザで救われた家族の実話だ。

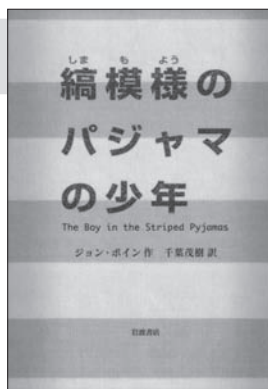


しまもよう 縞模様のパジャマの少年

ジョン・ボイン 作 千葉茂樹 訳
岩波書店

ブルーノは、軍人である父親の特別な任務のため、ある日とつぜん、引越しをすることになりました。

まわりに子どもがいなくて、たいくつな毎日を送っていたブルーノは、ある日探検にでかけ、巨大なフェンスごしに、縞模様のパジャマをきた少年と出会います。その子シュムエルとともだちになり、毎日のように会うふたりは、おたがいの話をするようになります。

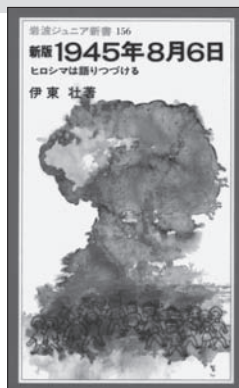


新版 1945年8月6日 -ヒロシマは語りつづける-

伊東壮 著
岩波書店

ヒロシマに原爆が落とされた日、それは人類のすべてが忘れてはならない日です。ヒロシマは被害者意識を絶大にしますが、日本人はアジアの国々では加害者です。それでも“ヒロシマ”を語らなければなりません。

絶滅の危機を感じた世界の人びとが「ノーモア・ヒロシマ」の訴えを受けとめ、核廃絶に立ち上がります。

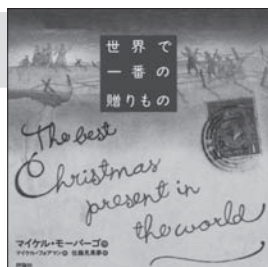


世界で一番の贈りもの

マイケル・モーパゴ 作 マイケル・フォアマン 画 佐藤見果夢 訳
評論社

がらくた屋の店先でみつけたロールトップデスクを買い、修理していたぼくは、秘密の引出しのなかに一通の手紙を見つけた。それは戦争の最前線で戦う兵士が妻にあてて書いたもので、そこには、信じられないような出来事がつづられていた。

第一次世界大戦中の戦場で、実際に起こったクリスマスの日の心温まる休戦のお話。



戦争をくりぬけたおさるのジョージ -作者レイ夫妻の長い旅-

ルイズ・ボーデン 文 アラン・ドラモンド 絵 福本友美子 訳
岩波書店

「おさるのジョージ」を知っていますか。作者のレイ夫妻は、ユダヤ人だったので、ナチス軍から逃れるため 1940年6月、「おさるのジョージ」の原画を携え、自転車に乗って戦火のパリを脱出しました。4ヵ月後に、ニューヨークに着くまでの二人の奇跡の逃避行をたどります。



小さな魚

エリック・C・ホガード 作 犬飼和雄 訳
富山房

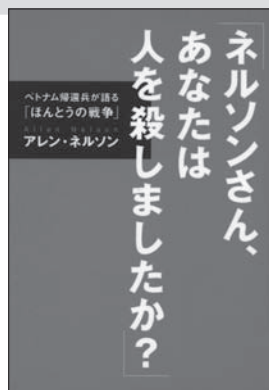
1943年、戦時中のイタリア・ナポリで暮らす12歳の浮浪児ガイド。飢えが国じゅうに広がる中、物ごいなどで日々の糧を得ていた。ところが、ある日、住みかにしていた洞窟を追い出されることに。ガイドと仲間のアンナ、その弟マリオの三人は、カッシノを目指して放浪の旅に出る。



ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか？—ベトナム帰還兵が語る「ほんとうの戦争」—

アレン・ネルソン 著
講談社

私は、初めての休暇でベトナムから家に帰った時、母は生きてかえてきた姿を見て、満面の笑みを浮かべ、キスをしてくれると確信していた。だが、母は「もう、私の子ではない」と言った。昔のアレンではない。まったくの別人だと思ったのだ。ベトナム帰還兵が語る「ほんとうの戦争」。



ヒトラーのむすめ

ジャッキー・フレンチ 作 さくまゆみこ 訳
北見葉胡 さし絵
鈴木出版

オーストラリアのある牧場のそばにスクールバスの待合所があった。マーク、アンナ、トレーシー、ベン of 四人は、バスが来るまで“お話ゲーム”をしていた。雨が降り続くある日、アンナが「ヒトラーのむすめ」の話をはじめた。ヒトラーのむすめハイジからみたヒトラーとは。



やくそく たび
約束の国への長い旅

篠輝久 著
 リブリオ出版

一枚の写真がある。ユダヤ人たちがリトアニア国日本領事館の鉄柵の向こうに集まって、日本領事である杉原千畝を見ている写真だ。1940年の夏、リトアニアの日本領事館で、何が起こったのだろうか。

第二次世界大戦中に、ユダヤ人の命を救うためにビザを発行し続けた、杉原千畝の足跡をていねいに追いかけた作品。



日本の歴史をよみなおす

網野善彦 著
 筑摩書房

いままでの歴史は、ふつつ原始、古代、中世、近世、近代と時代区分され、この中で時代の流れをとらえてきました。それらの時代区分をとりさり、日本の文化・社会の転換期に促して、歴史を区分したのが本書です。

ひらがなや銭の普及の背景やその意味、女性の地位の問題などを、十四世紀の出来事からさかのぼります。



さとやま
今森光彦フィールドノート 里山

今森光彦 著
 福音館書店

昔から、人がお米をつくり、薪を切って生活していた場所には、多くの生きものが暮らしてきました。こうした生きものと人が、いっしょに暮らしている場所を里山とよびます。この本は、里山にひかれ、琵琶湖

西側に広がる棚田にアトリエをつくり、人と自然の営みを見つめ続けてきたカメラマンの著者がつづる15年間の記録です。



オーロラの向こうに

松本紀生 著
教育出版



みなさんは、「オーロラ」を知っていますか？著者は北アメリカ大陸で一番高いマッキンリー（6,194メートル）の上空に現れるオーロラの写真を撮るために、1か月間を一人で過ごしました。そこはマイナス40度の寒さの氷河の上でした。

美しいオーロラの写真が印象に残ります。

気分はもう、裁判長

北尾トコ 著 100% ORANGE/ 及川賢治 装画・挿画
イースト・プレス



実際に、^{さいばんしょ}裁判所で裁判を見たことはあるかな？
裁判は、^{じけん}事件の^{かんけいしゃ}関係者であつてもなくても、^{おとな}オトナでも
^{こども}子供でもそばで見ること＝^{ぼうちょう}傍聴することができるんだ。この
本で、^{ちか}地方^{さいばんしょ}裁判所の^{けいざじけん}刑事事件を中心に、^{せつどうじけん}窃盗事件から^{ころ}殺人
事件まで^{むつ}六つの^{ぼうちょう}法定をめぐる“傍聴ツアー”を始めよう！

まだ裁判を見たことのない人のためのガイドブック。

ちいさな労働者 -写真家ルイス・ハインの目がとらえた子どもたち-

ラッセル・フリードマン 著 千葉茂樹 訳
あすなる書房



100年前のアメリカでは、^{かこく}過酷な労働をする子どもたちがいました。写真家ルイス・ハインが、全米児童労働委員会のために、撮りはじめた、労働する子どもたちの写真集です。

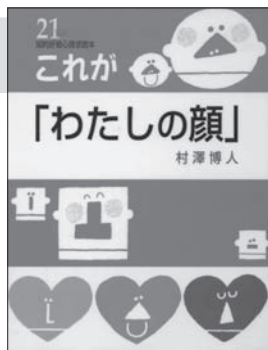
この写真が、アメリカの社会に子どもたちの「人権」について考えるきっかけをあたえました。

これが「わたしの顔」

村澤博人 著
ポプラ社

顔は誰かを見わけるためだけでなく、表情をつくって自分の感情を表現し、他人とコミュニケーションするためにも使います。そして、さまざまな感情を表現するとき、顔面にある筋肉のお世話になります。その筋肉とは…。

世界に一つしかない「わたしの顔」をもっと魅力的に、そして世界一ステキな顔になろう。



瞬間をとらえる

滝沢美絵 文 ガリレオ工房 編 伊知地国夫 写真
大月書店

「ミルククラウン」というのを知っていますか？写真で見たことがある人もいます。白い王冠の形をしたものの正体は、実は、牛乳の雫なのです。

一瞬のできごとなので、肉眼では見ることはできませんが、写真に撮ると不思議な形に見えるものは、他にもたくさんあります。テニスボールがラケットに当たる瞬間や、風船が割れる瞬間等を、カラー写真で紹介しています。



センス・オブ・ワンダー

レイチェル・カーソン 著 上遠恵子 訳 森本二郎 写真
新潮社

海洋生物学者であり作家である著者が、甥ロジャーとともにはじめた冒険－自然界への探検－について、つづった作品。冒険は、ロジャーが一歳八ヶ月になったばかりの時から始まり、四歳になるまで続けられた。

嵐の夜の海、雨の日の原生林、そこで生きている植物や動物の生命の輝き。自然に親しむことの大切さを著者は説いている。



くつつくふしぎ

田中幸 / 結城千代子 文 村田まり子 絵
福音館書店

くつつくという言葉はよく使われるけど、どうい
ことば
ことなのだろう。部屋のなかで観察してみると、くつ
へ
つきかたにもいろいろあることがわかる。

じしゃく、のり、吸盤、静電気…。

草が服にくっついたり、どろが服につくのは…。わ
かっていたつもりでも考えさせられる本だ。



数の悪魔 —算数・数学が楽しくなる12夜—

エンツェンスベルガー 著 丘沢静也 訳 ヘルナー 絵
晶文社

算数なんて大嫌い!! そんな少年ロバートの夢のなかに夜
な夜な奇妙な老人「数の悪魔」があらわれ、真夜中のレッス
ンがはじまる。

1や0のマジック、素数の謎、ウサギのつがいの秘密、
るいじょう へいぼうこん
累乗と平方根、パスカルの三角形…夢の教室で数の悪魔が
魔法のステッキをひとつりすると…はてしなく不思議な数の世界にあそぶ12夜のおはなし。

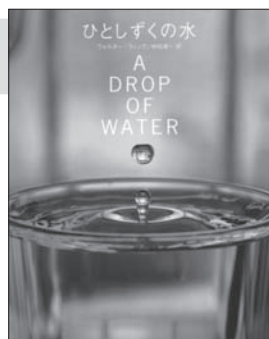


ひとしずくの水

ウォルター・ウイック 作 林田康一 訳
あすなる書房

ひとしずくの水が落ちると、しずくはしぶきをあげ、
もっと小さなしずくになります。この小さなしずく
を、もっともっとくだいていったらどうなるのでしょ
うか?

水ぶんしの分子や表面張力ひょうめんちょうりょくのお話にはじまり、雲・雪・虹をつくるしずくのことなど、
「水」を科学的に見ている、写真のととても美しい絵本です。



絵ときゾウの時間とネズミの時間

本川達雄 文 あべ弘士 絵
福音館書店

ネズミの寿命は2年。ゾウの寿命は70年。ネズミは短い一生でかわいそうと思うかもしれないが、ネズミもゾウも1キログラムの体重あたりにしてみれば、一生に食べる量は同じ。一生のあいだに心臓がうつ回数は約15億回で同じ。でも、ゾウは1分間に30回でネズミは600回うつ。つまり、動物はみんな同じだけ生きて死ぬことになる。ゾウはゾウの、ネズミはネズミの、それぞれの時間の中で生きている。



自分の脳を自分で育てる -たぐましい脳をつくり、じょうずに使う-

川島隆太 著
くもん出版

脳が活動することで、私たちは「思ったり」「手に取ったり」「話したり」といろいろなことを行えます。脳の働きについては、今もまだ解明途中です。この本では、脳科学でわかったこと、脳を画像にして調べる研究の成果について知ることができます。よりよい脳をつくるための勉強方法も紹介されています。



納豆はただものではない!

樋口清美 著
アリス館

「7月10日は納豆の日」。ある日そんな新聞広告を目にした著者。その瞬間、知りたがりのアンテナがピピッと反応。図書館で、納豆に関する本を探したり、インターネットで、ホームページめぐりをしたり…。調べてゆくうちに、納豆の驚くべき効能や性質が明らかになってゆく。何かを調べることって、こんなに楽しいんだ、ということを実感する本。



リネア —モネの庭で—

クリスティーナ・ビョルク文 レーナ・アンデション 絵 福井美津子 訳
世界文化社

リネアは同じアパートの上の階に住むおじいさんと、フランスの画家モネの画集を見たことがきっかけで、パリに行くことになりました。絵に描かれた「睡眠蓮」の池、モネが住んでいた家、モネの美術館を訪ねます。写真や絵、イラストなど、ふんだんに作ったページをめくっていくとリネアの楽しい気持ちが伝わってきます。



人間が好き —アマゾン先住民からの伝言—

長倉洋海 写真・文
福音館書店

アマゾン先住民を、1993～1996年にかけて撮影した写真の数々と、先住民が写真家・長倉洋海に話してくれた言葉が、一冊の本になっています。“人々がもっとも求め、喜ぶものは、ものではなく、人間なのです。すべてをさしだし、もてなし、そばにいてもらおうとします。”“わたしたちは自然の一部、緑の木々はわたしたちの兄弟です。”



幻のオリンピック

川成洋 著
筑摩書房

1936年（昭和11年）のオリンピックは、ベルリンが開催地であった。しかし、いわゆるナチス・オリンピックをボイコットして、人民オリンピックを開催しようという機運がおこった。結局、スペインの内戦と革命により幻になった。オリンピックの意義とスペインの歴史を考えさせられる。



サラダ記念日 — 俵万智歌集 —

俵万智 著
河出書房新社

“短いということは、表現にとってマイナスだろうか？
…自分のなかの無駄なごちゃごちゃを切り捨て、表現の
ぜい肉をそぎおとしてゆく。…”（あとがきより）そん
な三十一文字で表された口語短歌の数々。

“気がつけば君の好める花模様ばかり手にしている試着室”
“この味いいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日”



姉ちゃんの詩集

これは、弟が無断で姉の詩をネットに載せたことがきっかけで
きた詩集です。本になることを話した時、弟は母に往復ビンタを
もらいましたが、今は母にも姉にも喜んでもらえているそうです。

「弟」 弟が生まれたとき
捨てようとしたそうで
りょうあしをもって
ゴミバコにいれようとしたそう（私が弟を）
いまはすきだけどたまに憎い



サマー 著
講談社

みみをすます

谷川俊太郎 著
福音館書店

「みみをすます きのうの あまだれに みみをす
ます」自然界の音のみみをすましてじっと聞く。新し
い発見があるかもしれません。

他に「えをかく」「ぼく」「あなた」「そのおとこ」「じゅ
うにつき」があります。

